



自分を客観的に見るために

校長 牧野田 弘一

「〇〇君のお母さんから、〇〇さんの家の人からも、牧野田君と一緒に先生に叱られたって言われた。本当に恥ずかしかった。」

P T Aの日に母の帰りを待つ時間は気が重たいものでした。小学4年生くらい頃の私は、落ち着きがなく、担任から叱られない日の方が少なかったような気がします。あちらこちらから「あなたの子どもと一緒に悪さをした」と聞けば、母も居心地が悪かったことでしょう。



久しぶりの雪合戦
(2月18日)

高学年の頃には私も落ち着きそのようなことはなくなりましたが、中学2年の時に学校から戻った母から久しぶりに叱られたことがありました。

「先生が言ってたけど、〇〇さんが『私の父が…』と言ったら、あなたたちが笑ったってね。」

そういえば先週の授業中にある同級生が「私の父が…」と言ったときに、その大人ぶった物言いをからかうように笑ったことがありました。

「私のお父さんが…」と言う方が丁寧なような気がしますが、これは身内に丁寧語を使うということになります。そんなことに気付かなかった私たちの行動に担任が苦言を呈したのでしょうか。そして母も、我が子のことを情けなく思ったのでしょうか。

教員生活のスタートは3年生の学級担任でした。多くの子どもが自分のことを「わたし」や「ぼく」ではなく、名前で表現していました（例えば私が「弘一は昨日、遊びに行ったよ」と言う）。幼児の頃の癖がなかなか抜けなかったのでしょうか。

ところが、翌年5年生を担当したところ、まだ何人かの子どもが同じように自分のことを名前で表現していました。

私なりの解釈ですが、自分のことを名前で言う間は自身を客観的に見ることはできないのではないかと思います。だから、自分の言動が周りの友達などにどう見られているのかをなかなか理解できずに、友達は自分と異なる見方や考え方をしていることがあるということを実感できないのかもしれない。



1年生の発表に見入る
新入児と保護者の皆様

テレビ等で成人した方が「お母さんがいつも励ましてくれたから頑張ることができた」と言ったり、「〇〇は…」と自分を名前で呼んだりしている姿を見ると、残念な気持ちになるのは私だけなのでしょうか。

先日の全校朝会で「自分で自分を見つめる」と題して、話しをしました。自分の言動を客観的に振り返ることはなかなか難しいことですが、身に付けてほしい力の一つです。まずは自分のことを何と表現することから考えられるようにしたいと思います。

改修が進んでいます

現在、学校では毎日のように工事関係の皆様が改修に励んでいらっしゃいます。

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、2号館・3号館のトイレの一部の洋式化が終わり、1号館の手洗い場の設置が進んでいます。これで、およそ半分のトイレが洋式となるとともに、全学級に手洗い場を確保することができます。



タブレットを保管する
電源キャビネット

また、左の写真のように各教室の前に今までなかった見慣れない箱が置かれています。これは、来月配布が始まる一人一台のタブレットパソコンを保管しながら充電をする、電源キャビネットです。子どもたちは登校するところからタブレットを取り出し、下校前に充電するために入れ戻すことになります。学校では、タブレットをどのように活用するのかを研究中です。

最後に右の写真をご覧ください。これはある特別教室を普通教室へと改修している様子です。元は何の教室だったか想像できるでしょうか。答えはパソコン室です。子どもたちにも職員にもタブレットが配布され、各教室でパソコンを使った学習ができることから、パソコン室を学級として使える部屋へと変えることになりました。

子どもたちの学びがより促進される環境に整っていくことは、大変ありがたいことです。



1号館に新設された手洗い場



改修中の部屋はどこ？

もっと知りたい、鹿児島のこと

問題です。「カライモ（サツマイモ）を鹿児島に普及させたのは誰ですか。（①島津義弘、②青木昆陽、③前田利右衛門）」答えはこのページの下でお確かめください。

これは、先日子どもたちがチャレンジした「かごしまジュニア検定」の問題の一つです。かごしまジュニア検定は、子どもたちが鹿児島県の歴史や文化等を知ることの楽しさに触れ、その成果を実感することができるように、毎年実施されているものです。南北600km、43市町村の鹿児島県のことについて出される問題は、大人でも答えを迷うものがあります。検定に挑戦することをきっかけに、もっともっとふるさとのことに関心をもっとほしいと思います。

なお、さらに難問が出される「かごしま検定～鹿児島観光・文化検定～」もあります。興味のある方は下のQRコードからご覧ください。



← 「かごしまジュニア検定」のための教材

「かごしま検定」の過去の試験問題と解答例 →



入賞おめでとうございます！

【始良市防火ポスターコンクール】

銀賞 6年 三輪○○○ さん
銅賞 3年 里山○○○ さん

1年 磯口○○ さん

3・4月行事予定

【3月】15日～ 学用品持ち帰り週間
5日(金) 6年生を送る会、お別れ遠足
10日(水) 特別支援学級閉級式
24日(水) 卒業式
25日(木) 修了式、離任式

【4月】6～11日 いじめ問題を考える週間
6日(火) 新任教、始業式、入学式
8・9日 標準学力検査、知能検査
10日(土) 特別支援学級閉級式
14日(水) 学級PTA
16日(金) 交通安全教室
21日(水) 1年生を迎える会
28日(水) 避難訓練(地震、火災)
19～26日 教育相談(保護者対象)

※ 新型コロナウイルス感染症対策のために、実施内容や時期を慎重に検討し、変更する場合があります。どうぞご理解ください



答え：③前田利右衛門

江戸時代中期に琉球からサツマイモの苗を持ち込み、研究を重ねて種イモや苗を周囲の農民に配り、普及させたとされています。